

主な問い合わせ内容と問い合わせ先

○家族の安否確認

災害用伝言ダイヤル171の利用法ページでお知らせしています。

参考リンク:災害用伝言ダイヤル171の利用法
(<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>)

○ライフラインなどに関する問い合わせ先

電気(停電など)

(1)九州電力ホームページ停電情報
(http://www.kyuden.co.jp/info_teiden/miyazaki.html)

(2)九州電力・送配電コールセンター
☎0120-986-306

水道

(1)串間市上下水道課 ☎72-1355

電話の故障

(1)故障などに関する相談受付 ☎113
(2)携帯電話・PHSからは ☎0120-444-113

問 / 消防本部 ☎72-4151

大規模な災害(地震、台風等)が発生した場合には、火災や救急、救助事故などの119番通報が殺到することが予想されます。緊急通報以外の問い合わせが相次ぐと、119番がつながりにくくなるばかりか、消火活動や救護活動などの対応が遅れてしまふこともあります。119番は問い合わせには使用しないでください。

適正利用を心掛けましょう

その119番
本当に緊急ですか?

大規模災害時の119番通報について

成人式実行委員会のみなさんと
お過ごしください。



成人式実行委員会のみなさんと

2月は1年で最も寒い時期であります。農作業の準備に多忙な月でもあります。今年もインフルエンザが流行していますので、日々の手洗い・うがいなど予防対策に備えてお過ごしください。

さて、1月13日に行われた平成最後の成人式では、163名の皆さんのが大人の仲間入りを果たしました。新人として輝かしい日を迎えた皆さん、おめでとうございました。

これから串間市の発展に欠かすことのできない原動力は、若者たちの熱い思いや情熱です。現在、それぞれの夢や目標の実現に向けて市内外で頑張っておられることがいますが、将来多くの皆さんのがこの「ふるさと串間」で活躍していただき、串間市の未来を支えていくほしと思います。

そして、我々大人たちも新成人に負けない元気な力を持つて団結し、若者たちが夢や希望を持てる社会を実現できるよう「猪突猛進」で一緒に



志布志湾上空から見た下弓田遺跡

まだ知らない串間がたくさん!
くしま再発見

福島川の河口付近、弓田の広い砂丘の一角には宮崎県を代表する縄文時代後期の遺跡として県指定文化財になっている下弓田遺跡があります。地中に埋もれているために普段は見ることができませんが、昭和時代に宮崎県教育委員会による発掘調査が数回行われていますので、その成果をもとに遺跡の内容や当時の様子を紹介します。

遺跡とは昔の人々が生活していた痕跡のことです。下弓田遺跡で縄文人が生活していた3千年前から4千年前頃の福島平野は満潮時に湖となり、干潮時は干潟が現れるといった地形環境にあり、下弓田遺跡は湖のほとりの砂丘上に掌まれた集落だったと考えられます。

昭和時代の調査では2軒の堅穴(たてあな)住居跡と1軒の平地住居跡が発見されています。まだ多くの住居跡が未発見のままだ多くの住居跡が未発見のま埋もれているものと思われます。石器では矢の先に付ける石鏃(せきぞく)、動物の皮を剥いだりナイフとして使われた石匙(いしざじ)、木の実をすり潰すための磨石(すりいし)や石皿(いしざら)、斧や土掘り道具としての石斧(せきふ)、漁網用の錘(おもり)である石錘(せきすい)、ウキ用と推定される輕石製品など、生活や生産活動に必要な道具がそろって出土しています。中でも石錘は大量に出土しても下弓田遺跡は漁業を主な生業とする集落だったものと想定できます。また、多くの土器(素焼きの鉢など)も出土しており、その形や表面を飾る文様からは志布志文化的交流がうかがえます。中でも写真の土器は下弓田式土器と呼ばれ、縄文時代後期の南九州に代表的な土器として知られています。

下弓田遺跡と同じ頃に掌まれた串間地方の遺跡に大字大平の大平遺跡や大字一氏の三幸ヶ野遺跡があります。どちらも山間部の遺跡で、生活墓盤は狩猟や木の実採集などの「山の幸」ということになりますが、「海の幸」

を求めた下弓田遺跡の人々との物々交換などによる交流も想定できるものと思われます。下弓田遺跡では、後の時代の遺物として弥生土器や平安時代の土器も見つかっており、時代的な空白はあるものの長く掌みの続いた遺跡でした。串間地方の豊かな自然を活用した古くからの人間の営みを示してくれる貴重な遺跡となっています。



下弓田式土器